

通年（特に冬季に）みられる感染症

②ノロウイルスによる感染性胃腸炎

【概要】

- ・ノロウイルスによる感染症。
- ・冬場に流行し、学校や社会福祉施設などの集団生活の場で大規模に流行することがある。

【感染経路】

- ・ノロウイルスが口から入ることによる「経口感染」。
（ヒトから人への感染／汚染した食品を介しておこる食中毒）
 - ①感染した人の便やおう吐物に触れた手指を介してノロウイルスが口に入る場合。
 - ②感染した人の便やおう吐物が乾燥して、細かなチリとして舞い上がり、そのチリと一緒にウイルスを体内に取り込んだ場合。
 - ③感染した人が十分に手を洗わず調理した食品を食べた場合。
 - ④ノロウイルスを取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生や、不十分な加熱処理で食べた場合。

【潜伏期間・症状】

- ・潜伏期間は1～2日。
- ・吐き気、おう吐、下痢・腹痛、発熱など。
- ・症状の持続期間は1～2日間。
- ・特別な治療方法はなく、対象療法がおこなわれます。



【予防対策】

- ・流水・石鹼での手洗い
（特に排便後、調理や食事前）
- ・便や吐しゃ物の処理時は、使い捨ての手袋/マスク/エプロンを着用。
- ・二枚貝を調理する時は、中心部まで十分に加熱。

